

3. 熱中症予防行動の効果的な情報発信

情報発信の手段・媒体や機会に関する事例

- 熱中症の予防行動・対策を促すための情報発信手段・媒体やその発信機会には以下のような例がある。伝えたい対象、内容によってこれらから選択したり組み合わせる。

- ・ web(ホームページ、SNS、アプリなど)
- ・ メール
- ・ パンフレット、リーフレット
- ・ 広報紙、フリーペーパー
- ・ チラシ
- ・ ポスター
- ・ テレビ、ラジオ(ケーブルテレビ、コミュニティラジオなど)
- ・ 大型ビジョン
- ・ 防災無線
- ・ 音声告知端末
- ・ 広報車(パトカー、消防車、青色防犯パトロール車両、ごみ収集車など)
- ・ 暑さ対策グッズ(うちわ、マグネット(温度計つきを含む)、飲料(経口補水液を含む)、塩飴・塩タブレットなど)
- ・ セミナー、講座
- ・ ウェビナー(webセミナー)
- ・ イベント
- ・ 個別訪問による見守り・声かけ



▲防災無線 拡声器[例]



▲音声告知端末[例]

ケーブルテレビやインターネット回線を利用し、行政からのお知らせ(募集・案内、交通情報、防犯情報、当番医など)を放送することができる。



▲ごみ収集車側面のマグネットポスター[例]

